

報道関係各位

アストンマーティン ジャパン

Press Release



**アストンマーティン DBX707 がデビュー：  
世界でもっともパワフルなラグジュアリーSUV**

- パフォーマンスとドライビング・プレジャーを新たに定義する DBX707
- 新たなセグメントを切り拓く DBX707 は、アストンマーティンをパフォーマンス SUV の頂点に引き上げる
- アストンマーティン自社開発の 4.0 リッターV8 エンジンは、707PS の最高出力と 900Nm の最大トルクを発揮
- エンジン、トランスミッション、サスペンション、ブレーキ・アップグレードによる包括的なパフォーマンス
- ハードウェアのハイライトは、新しい 9 速湿式クラッチ・ギアボックス、420mm 径カーボン・ブレーキ
- パフォーマンスの強化と、それに対応する圧倒的なスタイリング
- 納車開始は 2022 年第 2 四半期を予定



ASTON MARTIN



2022 年 2 月 1 日、ゲイドン（英国）：

新型 DBX707 は、他に類を見ない極めてユニークな SUV です。このニューモデルは、圧倒的なパフォーマンス、ダイナミクス、印象的なスタイル、絶対的なラグジュアリーを独創的に組み合わせ、アストンマーティンをセグメントの頂点へと押し上げます。豊かなキャラクターと幅広い能力を備えた DBX707 は、あらゆる点で究極の SUV です。

最速、最強、最良のハンドリング。DBX707 のキャラクターは、この 3 つの言葉に集約されています。しかし、ただ単にベンチマークを追い求めるのではなく、決して真似のできない独自の方法で目標を達成しています。アストンマーティンの流儀で表現すれば、それは数値では表せないニュアンスを実現することであり、世界最高峰のパワーとパフォーマンスを達成すると同時に、驚異的な精密性、驚嘆のダイナミズム、純粋な人車一体感のすべてを提供し、唯一無二の、しかし、一度体験したら絶対に忘れないドライビング体験を提供することを意味します。この車は、強力なライバルがひしめくセグメントの中で、傑出した存在感を発揮します。

DBX V8 は、デザイン、ダイナミクス、ドライビング・プレジャーの面で、すでに高い評価を受けています。これをスタート地点として、真正なスポーツキャラクターをさらに発展進化させたモデルが DBX707 です。パフォーマンスを引き上げ、運転する喜びをさらに濃密にして、オンロードでの存在感も高めるために、あらゆるエリアを強化しました。

アストンマーティン最高経営責任者（CEO）のトビアス・ムアースは、次のように述べています。「DBX は、デビューした瞬間からアストンマーティンのダイナミクスやデザイ



## ASTON MARTIN

ンの価値を具現化しつつ、すべての SUV が同じ妥協を強いられなくてもよいという事実を証明しました。私たちは、DBX707 とともに限界を押し広げて、パフォーマンスと魅力の新基準を確立させるモデルを完成させました。最速、最強、最良のハンドリング、最高の人車一体感を提供する DBX707 は、アストンマーティンをパフォーマンス SUV セグメントの頂点へと押し上げるモデルです」

アストンマーティン・エンジニアリングチームは、まず、パワートレインの開発から着手し、DBX に搭載されている 4.0 リッター・ツインターボ V8 エンジンのポテンシャルをフルに引き出すことに取り組みました。パワートレイン・エンジニアリング責任者のラルフ・イレンバーガー率いるチームは、DBX707 のエンジンにボールベアリング・ターボチャージャーを採用するとともに、専用のキャリブレーションを施して、より多くのパワーとトルクを引き出すことに成功しました。このアストンマーティン・ハイパフォーマンス SUV のフラッグシップ・モデルには、9 速「湿式クラッチ」オートマチック・トランスミッションが初搭載されています。このトランスミッションは、従来型のトルクコンバーター・オートマチックよりもトルク伝達容量が大きく、従来の DBX (V8) を 157PS、200Nm も上回る、707PS の最高出力と 900Nm の最大トルクを余すことなく 4 輪に伝達します。

この新しい湿式クラッチ・トランスミッションは、さらなるメリットをもたらします。このユニットは、トルクコンバーター式トランスミッションと比較して、遥かに迅速にギアチェンジを行うことが可能です。シフトフィールも改善され、高速化とダイレクト感が高まり、コントロール性とレスポンスの向上を実感することができます。その結果、DBX (V8) 以上のダイナミックなキャラクターを実現しています。発進加速も向上し、3.3 秒という驚異的な 0~100km/h 加速に貢献しています。

イレンバーガーは、次のように続けています。「この例外的なニューモデルは、DBX の潜在的なパフォーマンスを解き放ち、世界最高のハイパフォーマンス SUV の称号を獲得するでしょう。パワー、トルクともに大幅な増加を達成し、4.0 リッター・ツインターボ V8 の秘めたる実力を知らしめると同時に、一切の妥協を排し、最高のエンジニアリング・ソリューションを追求し続けるアストンマーティンの姿勢を実証しています。この類まれなエンジンと新しい 9 速"湿式"トランスミッションの組合せは、驚異的な性能と記憶に残るキャラクターを備えた DBX707 の心臓部に収まっています」



## ASTON MARTIN

パフォーマンスの強化には、パワートレイン以外の要素も関連しています。標準装備されるカーボンセラミック・ブレーキがその典型的な例です。フロント 420mm 径、リア 390mm 径の CCB ディスクと 6 ピストン・キャリパーを採用し、4 輪合計でバネ下重量を 40.5kg も削減しています。さらに油圧系のサイズやブースター・チューンも見直して、ブレーキフィールとレスポンスを向上させ、制動精度とドライバーの自信を同時に高めることに成功しました。メインクーリング・インテークとアンダーフロアからフレッシュエアを取り込んで、ブレーキの冷却性能も引き上げています。これにハイパフォーマンス・ブレーキパッドが相まって、幅広い温度領域で高い制動安定性を実現しています。

22 インチ・ホイールとタイヤを標準装備（スポーツタイヤと「Ribbon」デザインの選択が可能）し、テクスチャード・ブラックまたはダイヤモンド旋削仕上げが印象的なサテンブラックの 23 インチ・アロイホイールがオプション設定されます。23 インチ仕様を選択すると、大径タイヤによるステアリング・レスポンスの向上効果やボディの初期応答性が引き上げられて、ラップタイムが短縮されるなどのダイナミクス上の恩恵を得ることができます。

DBX707 には、新バージョンのエレクトロニック・リミテッドスリップ・リア・ディファレンシャル（e-diff）も採用されています。このディファレンシャルは、900Nm の最大トルクに耐えられるよう強化されるとともに、最終減速比を DBX V8 の 3.07 から 3.27 に変更（ローギアード化）しています。これにより、DBX707 は、9 速トランスミッションによる効率およびクルージング時の洗練性を維持しながら、低速ギアからの加速力とギア固定時のレスポンスが向上しています。

フロントおよびリアへのトルク配分がフルオート化されている点は、DBX V8 と同一です。必要に応じて、リアアクスルに最大 100% のトルクを伝達することも可能です。e-diff にも入念なキャリブレーションを施すことにより、コーナリング時の俊敏性、スポーツフィール、ダイナミクスは、すべて真のスポーツカーと呼ぶに値するレベルに達しています。シャシーおよびパワートレイン・テクノロジー・システムの統合により、最良のハンドリング・バランスを実現しつつ、常にトラクションと俊敏性の理想的なバランスを維持します。



## ASTON MARTIN

卓越したハンドリングのカギを握るメカニズムは、エア・サスペンション・システムです。基本的な構造とトリプルボリューム・エア・チャンバーは、セグメント最良のハンドリングを誇る SUV として評価されている DBX V8 のシステムを踏襲しています。さらに、DBX707 シャシーには、厳格なニーズと目的に合わせて最適化された専用チューニングが施されています。

新しいダンパー・バルブとキャリブレーションが見直されたスプリング・ボリューム・ダイナミック・スイッチングによって、ボディ・コントロールとステアリング・レスポンスが引き上げられています。電動パワーステアリング・システムのキャリブレーションを改善した結果、ステアリング・フィールも向上しています。ニュートラル位置から離れるにしたがって操舵力が大きくなるため、コーナリング負荷の増大とグリップ・レベルの状況をより正確に予測できるようになりました。

ヒープ（バンプやクレストを通過する際、またはサスペンションが圧縮される時にボディに発生する鉛直方向の動き）、ピッチ（制動時のノーズダイブや加速時のスクワット現象）、ロール・コントロールがタイトになったため、DBX707 のドライバーは、自然なペダル操作とステアリング入力だけでヨーモーメントをコントロールすることができます。細かい部分では、エレクトロニック・アクティブ・ロール・コントロール（eARC）システムのパラメーターを変更することで俊敏性のレベルを強化し、ダイナミック・バランスを向上させています。

DBX707 のドライバーに焦点を当てたキャラクターは、ダイナミック・ドライブモードの改良にも表れています。ここでは、「GT Sport」および「Sport+」モードで、「Race Start」を選択できるようにして、発進加速を最大限に引き上げ、強化されたパフォーマンスをフルに発揮できるようにしています。4 輪駆動システムのトランスファー・ケースのアクティブ・ロジックも改良して、ドライブラインと ESP システムの協調性とコントロール性を改善して、より自然でスポーツカーを彷彿とさせるドライビング体験を実現しています。

アストンマーティン・ビークル・エンジニアリングおよび調達責任者のドラモンド・ジャコイは、次のようにコメントしています。「究極の SUV を製作するという目標は、エンジニアリング・チームに数多くのチャレンジを突きつけました。このクラスでは、ただ単



## ASTON MARTIN

にパワーを追い求めればよい、という考え方が定着しているようです。しかし、DBX707では、強烈なパフォーマンス、完璧なコントロール性、精密性を組み合わせ、さらにアストンマーティンにふさわしいスポーツキャラクターを実現するという目標を立てました。そのためには、あらゆる努力を惜しまず、あらゆる妥協を排除して、車のあらゆる側面に目を向けなければなりません。エンジン、トランスミッション、サスペンション、ブレーキ、電子制御システム、エアロダイナミクスなど、すべてが包括的な強化と入念なチューニングの対象とされました。その結果、DBX707 は、新たな基準を確立させ、ライバルとの間に明確な違いを生み出すことに成功しています」

ドライバーが常に車両を制御下に置くというコンセプトに基づき、DBX707 には、新しいドライブモード・セレクション・スイッチを含む改良型の下部コンソールを装備しました。これによって、インフォテインメント・システムのサブメニューを表示させることなしに、主要なダイナミック・モードとセットアップを指先で操作することが可能になりました。サスペンション・モード、ESP、マニュアル・ギアセレクション、アクティブ・エキゾーストスイッチには、それぞれ専用ボタンを設定しています。マニュアル・ギアセレクション・モードを作動させると、スポーツカーのようなマニュアル・シフトが維持され、自動的にデフォルトのオートマチック・モードに戻ることはありません。アクティブ・エキゾーストシステム・ボタンを操作すると、ドライブモードをスポーツ・モードに切り替えなくても、新しい 4 本出しテールパイプ・スポーツエキゾーストシステムのバイパスバルブを開放することができます。

広範囲なエンジニアリングのアップグレードに合わせて、DBX707 のエクステリアとインテリアにも、抜本的なデザイン変更が施されています。ここでは、全体としてスポーティな印象を与えながらも、ディテールまで細心の注意を払うアストンマーティンのスタイリッシュなアプローチが巧みに表現されています。

フロントエンドでは、大型フロントグリルと新設計された DRL、新しいエアインテーク、ブレーキ冷却ダクト、新しいフロント・スプリッターの形状が新鮮なイメージを与えています。サテン・クロームグリル（ウルトラ・ハイパフォーマンス V8 と 9 速トランスミッションの冷却ニーズに合わせて大幅に拡大）には、ダブルベーンと 6 本の水平バーを配してビジュアル・インパクトを高めることにより、瞬時にこの車がトップモデルであることを視覚的に伝達します。





ASTON MARTIN

ダークサテン・クローム・ウィンドウサラウンドと新しいルーバー・ボンネットブレードは、フロントグリルやグロスブラック・スプリッター、これと連続するグロスブラック・サイドシルと完璧に調和しています。サイドシルは、彫刻的なフォルムに仕立てられ、地を這うような DBX707 のスタンスを強調します。DBX707 はまた、ソフトクローズ・ドアを採用することで、ラグジュアリーSUV のキャラクターをさらに強化しています。

フロントエンドと同様、リアエンド・デザインも非常に印象的です。美的フォルムと空力機能の両方を同時に引き上げるため、ルーフウイングに新しいリップ・スポイラーを追加して、揚力を抑えて高速安定性を向上させています。また、ツイン・リア・ディフューザーを大型化して、新しい大径 4 本出しエキゾーストシステムとの外観上のバランスも取っています。新しいエキゾーストシステムは、サテンブラック仕上げとして、ディフューザーのグロスブラックと対比させています。エキゾーストシステム自体にも精妙なチューニングを施し、ユニークなシグネチャー・サウンドを生み出しました。新しいリアバンパーには一体型クォーターパネル・ベントを組み込んで、筋肉質なフォルムをさらに強調しています。

アストンマーティン・チーフ・クリエイティブ・オフィサーのマレク・ライヒマンは、次のように述べています。「DBX707 のスタイリング上のポイントは、至高のダイナミズムによりもたらされる自信に溢れた姿を、デザインに取り込んだことです。DBX V8 という第一級の SUV がベースになっているため、大幅な変更は必要ありませんでした。私たちは、DBX707 が最高のパフォーマンスを誇るモデルとして瞬時に認識されるよう、デザインの特典エリアに集中して作業を行いました。当然のことながら、それらの変更は機能上の理由によるものです。すぐに目に付くのは大型グリル、リア・スポイラー、オプションの 23 インチ・ホイールでしょう。加えて、たとえばサイドシルやリアバンパーは、DBX707 の圧倒的なパフォーマンスを視覚的に伝達できるよう、よりアグレッシブなスタンスと筋肉質なフォルムをアクセントにしています。その結果、純粋なラインと完璧なプロポーションを維持しながら、そのポテンシャルを感じさせるデザインを生み出すことに成功しました。DBX707 は、獰猛なキャラクターを備えた真のパフォーマンスカーですが、アストンマーティン DNA に期待される美しさと優雅さも備えています」



## ASTON MARTIN

スポーティなデザインテーマは、インテリアにも反映され、スポーツシートを標準装備しています（コンフォート・シートは無償オプション）。全てのシートオプションに、16ウェイ電動調整機能を備え、フロント/リア・ヒーターが標準装備されます。インテリアの環境は、3種類から選択して頂けます。標準仕様の「Accelerate Sport」は、レザーとアルカンターラ®の組み合わせとなります。また、オプションの「Comfort」と「Inspire Sport」は、フル・セミアニリン・レザーを採用し、ヘッドレストのアストンマーティン・ウイング刺繍、シート中央より下のコントラスト・ストライプ、シートバック、およびベースクッションのパフォーマンス・パターンなどのディテールを組み合わせています。

エクステリアと同様、インテリアでも、ダーク・クローム仕上げが施されたスイッチギアを採用し、ブライト・クロームとカーボンファイバーをオプション設定しています。トリムは、ピアノブラック・ウッドを標準装備として、カーボンファイバーおよびブロンズ・メタルメッシュ仕上げをオプション設定しています。

DBX707のエクスクルーシブなキャラクターをさらに強化し、真にユニークな1台を製作したいお客様のために、「Q by Aston Martin」は、オーダーメイドによる究極のパーソナライゼーション・サービスを提供します。独自のグラフィック、ティンテッド・カーボン、ビスポーク素材などの幅広いオプションを提供する「Q by Aston Martin - Commission」は、お客様のニーズに完璧に対応し、パーソナライゼーションの概念を拡大します。

DBX707は、DBXラインナップのフラッグシップ・モデルであり、世界各国でアワードに輝くアストンマーティン初のSUVの系譜を受け継いでいます。DBXは、製造初年度だけで3,000台以上の販売を記録し、多くの称賛を集めました。たとえば、GQ Car Awardでは「ベスト・ラグジュアリーSUV」を、Top Gearでは「スーパーSUV・オブ・ザ・イヤー」を受賞し、PR Arabia National Auto Awardでは、2年連続で「ベスト・スーパー・ラグジュアリーSUV」の称号を獲得しています。

DBX707の製造は2022年第1四半期に開始し、納車は、2022年第2四半期初頭から開始する予定です。





ASTON MARTIN

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

画像素材はこちら：<https://we.tl/t-7l9RJw3Cqi>

動画素材はこちら：<https://we.tl/t-PQ4Ct7u0vL>

※動画素材は音声無データです。

###

## **DBX707 仕様：**

### **ボディ & デザイン**

5 ドア SUV ボディ・スタイル

接着アルミニウム製ボディシェル

アルミニウム & 複合材ボディパネル

ツインベント付きクラムシェル・ボンネット

DB シグネチャー・フロントグリル

シグネチャー・水平 DRL ライト

シグネチャー・リア・ライトブレード

リア・エアロウイング

サテックローム・トリム、ウィンドウ・サラウンド & サイド・ストレーキ

アストンマーティン・ウイング & ワードマーク

フラッシュ・ガラスとドアエッジ後方に隠されたシールを備えたフレームレス・ドア

パノラマガラス・サンルーフ

ルーフレール

ソフトクローズ・ドア

### **エンジン**

4.0 リッター V8 ツインターボ

排気量：3,982cc

ボア：83mm

ストローク：92mm

圧縮比 8.6:1

オールアロイ構造

32 バルブ、DOHC

デュアル・バリアブル・カムシャフト・タイミング

可変電子式ターボ・ウエストゲート・コントロール



ASTON MARTIN

インタークーラー

シリンダー休止システム

フロント・ミッドマウント・エンジンポジション

アクティブバルブ・エキゾーストシステム

## 性能

最高出力：707PS (697bhp/520kW) @ 4,500rpm

最大トルク：900Nm (663 lb-ft) @ 6,000rpm

リッターあたり出力：138PS/ℓ (136bhp/ℓ)

0～60mph (約 97km/h) 加速：3.1 秒

0～100km/h 加速：3.3 秒

0～160km/h 加速：7.4 秒

最高速度：310km/h

## 燃料消費量&エミッション

### WLTP

UK 複合モード (MPG) : 19.9 mpg

EU 複合モード (ℓ/100km) : 14.2 ℓ/100km

EU 複合モード (km/ℓ) : 7.0km/ℓ

## トランスミッション&ドライブトレイン

9 速オートマチック・トランスミッション (湿式クラッチ)

エンジンマウント・ギアボックス

エレクトロニック・シフトバイワイヤ・コントロール・システム

軽量一体型カーボンファイバー・プロペラシャフト

エレクトロニック・アクティブセンター・トランスファーケース

エレクトロニック・リア・リミテッドスリップ・ディファレンシャル

アダプティブ・ドライブモード：オンロード x4、オフロード x1

(オフロード走行用の特性&パラメーターを「Terrain」モードに統合)

## ステアリング

電動アシストラック & ピニオン・ステアリングシステム (EPAS)

ステアリング・レシオ、14.4 : 1 (速度感応型)

ロック・トゥ・ロック 2.6 回転

## サスペンション



## ASTON MARTIN

鋳造アルミニウム・サスペンション&サブフレーム・テクノロジー  
フロント：ワイドスペース・ダブルウィッシュボーン、分割式ロアリンク  
リア：マルチリンク  
アダプティブ・トリプルチャンバー・エアサスペンション  
可変ライドハイト（最大 45mm 上昇または 30mm 下降）  
エレクトロニック・アクティブ・アンチロール・コントロール・システム  
（48 ボルト eARC）

### ホイール&タイヤ

22 インチ

ホイールサイズ：フロント 10J x 22 インチ、リア 11.5J x 22 インチ

タイヤ：サマータイヤ：ピレリ P Zero、フロント 285/40 YR22、リア 325/35 YR22

タイヤ空気圧モニタリング・システム（TPMS）

### ブレーキ

フロント：カーボンセラミック（CCB）ブレーキディスク、420mm 径、

6 ピストン・アルミニウム・キャリパー

リア：カーボンセラミック（CCB）ブレーキディスク、390mm 径、

スライディングピストン・アルミニウム・キャリパー

ハイパフォーマンス・ブレーキパッド

電動パーキング・ブレーキ（EPB）

オートパーク・ブレーキホールド

アンチロック・ブレーキ・システム（ABS）

エレクトロニック・スタビリティ・コントロール（ESC）

トラクション・コントロール（TC）

エマージェンシー・ブレーキ・アシスト（EBA）

ロールオーバー・スタビリティ・コントロール（RSC）

ヒル・スタート・アシスト（HSA）

### セーフティ

アダプティブ・クルーズコントロール（ACC）

スピード・リミッター

前方衝突警告（FCW）

歩行者検出機能付き自動エマージェンシー・ブレーキ（AEB）

車線逸脱警告（LDW）

レーンキープ・アシスト（LKA）



## ASTON MARTIN

車線変更警告 (LCW)

リア・クロストラフィック警告 (RCT)

道路標識認識 (TSR)

ブラインドスポット警告 (BSW)

半ドア警告 (DOW)

エマージェンシー・コール (一部の市場)

エアバッグ (フロント、サイド、カーテン)

シートベルト・プリテンショナー&ステータス・インジケーター

ISOFIX チャイルドシート・アタッチメント (後席外側)

### 寸法

全長：	5,039mm
全幅 (ボディ)：	1,998mm
全幅 (ミラー格納時)：	2,050mm
全幅 (ドアミラーを含む)：	2,220 mm
全高：	1,680mm
ホイールベース：	3,060mm
燃料タンク容量：	87 リットル
積載容量：	632 リットル (+フロア下収納スペース：最大 62 リットル)
重量：	2,245kg 装備重量 (DIN)
重量配分：	52% / 48% (フロント/リア)
牽引重量：	2,700kg (5,940lb)
アプローチ・アングル：	22.2° (最大ライドハイト時：25.7°)
ディパーチャー・アングル：	24.3° (最大ライドハイト時：27.1°)
ブレークオーバー・アングル：	15.1° (最大ライドハイト時：18.8°)
渡河深さ：	500mm
最低地上高：	175mm (最大ライドハイト時：220mm)
回転径：	12.4m (車両先端部)

### 標準装備

フロントシート&ドアミラー - 3 ポジション・メモリー機能

リアシート - 3 座席、40：20：40 分割可倒式

電動格納式ドアミラー

自動防眩&ヒーター付きドアミラー

キーレスエントリー



ASTON MARTIN

キーレス・スタート/ストップ・ボタン  
3ゾーン・オートマチック・エアコンディショナー  
自動防眩ルームミラー  
パワーウィンドウ  
防音サイドガラス  
ダブル・サンバイザー（フロントガラス&サイド・ウィンドウ）  
照明付きバニティミラー  
キャビン・カーテシーランプ  
レインセンサー付きワイパー  
リアウィンドウ・デフロスター  
視覚インジケータ付きのフロント&リア・パーキングセンサー  
360° カメラシステム（展開式リアカメラ付き）  
ヌバック・バイディング付きカーペット&カーペットマット  
スポーツペダル - サテンクローム  
ドアシル・プレート - アルマイト処理された'Aston Martin'ウイング  
電動チルト・ステアリング/テレスコピック調整機能  
フロント・センターアームレスト - 左右、調整可能  
バイ LED ヘッドライト  
オートハイビーム（AHB）付き自動ヘッドライト  
LED デイタイム・ランニングライト（DRL）  
LED テールライト - レッド  
LED センター・ハイマウント・ストップライト  
LED リア・フォグランプ  
アクティブ・リア・ブレーキライト  
アプローチ照明  
エクステリア・ペイント - ソリッド・カラー  
フロントグリル仕上げ - ブライト・カラー  
エンブレム - エナメル AML ウイング・バッジ&スクリプト  
22 インチ・スポーツホイール - グロスブラック、ダイヤモンド旋削仕上げ  
サマータイヤ  
カーボンセラミック・ブレーキ  
ブラック塗装ブレーキ・キャリパー  
トリムインレイ - ピアノブラック  
ステアリングホイール - スポーツホイール<sup>1</sup>  
ジュエリーパック - ダークサテン・クローム  
スポーツエキゾーストシステム



ASTON MARTIN

電動式テールゲート

タイヤ修理キット

プレミアム・オーディオ

インフォテインメント・タッチパッド&ダイヤル

アストンマーティン・デザイナー・キー

ワイヤレス充電機能

<sup>1</sup> Accelerate にのみ装着可能

### 標準エクステリア・パッケージ

#### アッパー – グロスブラック

- グロスブラック・サイドストレーキ
- グロスブラック・ウィンドウ・サラウンド (DLO)
- グロスブラック・ルーフレール
- グロスブラック・ボンネットブレード
- グロスブラック・ドアミラーキャップ

#### ロワー – グロスブラック

- ボディカラー・スポーツ・フロントバンパー
- グロスブラック・スポーツ・フロントスプリッター
- グロスブラック・フロント・エアロウイングレット
- グロスブラック・スポーツ・ドアシル・エクステンション
- グロスブラック・ディフューザーウイング付きグロスブラック・リア・ディフューザー
- グロスブラック・リア・エアロウイングレット
- ボディカラー・ベンチレーテッド・リアホイールアーチ

### 標準インテリア装備

#### Accelerate

- Alcantara® & レザー・インテリア
- メモリー付き 16 ウェイ・スポーツ電動フロントシート
- シートヒーター - フロント&リア
- 刺繍 - アストンマーティン・ウイング
- インテリア・ジュエリー - ダークサテン・クローム
- マイクロ・パーフォレーション





ASTON MARTIN

- ヘッドライニング - アルカンターラ®

### テクノロジー&オーディオ

12.3 インチ TFT ドライバー・インフォメーション・ディスプレイ

10.25 インチ TFT センター・ディスプレイ

アストンマーティン・プレミアム・オーディオシステム (800 ワット、14 スピーカー) \*  
AM/FM/DAB ラジオ

SiriusXM サテライト・ラジオ (米国/カナダのみ)

USB ポート (x4)

12V 充電ソケット (x3)

SD カードポート

オーディオ・ストリーミング機能付き Bluetooth スマートフォン接続機能

Apple CarPlay を介したスマートフォン・アプリ接続機能

ボイス・コントロール

サテライト・ナビゲーション・システム (HDD)

ロータリー・インフォテインメント・システム・インターフェイス

バッテリーコンディショナー・コネクション

アンビエント・ライト (64 色、デュアルゾーン)

\* 標準仕様は地域によって異なる場合があります。

### オプション仕様

#### エクステリア

ボディカラー - メタリック、シグネチャー・メタリック、レーシング・ライン、サテン、  
ヘリテージ、スペシャル

フロントグリル仕上げ - ダーク

ブラック・クローム AML ウイング・バッジ&スク립ト

パワートレイン・バッジ - レス仕様

22 インチ・スポーツホイール - シルバー

22 インチ・スポーツホイール - サテンブラック

22 インチ「Ribbon」ホイール - グロスブラック、ダイヤモンド旋削仕上げ

22 インチ「Ribbon」ホイール - サテンブラック、ダイヤモンド旋削仕上げ

22 インチ「Ribbon」ホイール - サテンブラック・ブロンズ、ダイヤモンド旋削仕上げ

23 インチ 鍛造ホイール - サテンブラック、ダイヤモンド旋削仕上げ

23 インチ 鍛造ホイール - サテンブラック・ハロ、ダイヤモンド旋削仕上げ

23 インチ 鍛造ホイール - テクスチャード・ブラック

ブレーキ・キャリパー



ASTON MARTIN

- レッド
- グレイ
- イエロー
- ブロンズ
- オレンジ

### エクステリア・パッケージ

アッパー - 2x2 ツイル・カーボンファイバー・ボディパッケージ<sup>1</sup>

- ボディカラー・スポーツ・フロントバンパー
- カーボンファイバー・スポーツ・フロントスプリッター
- グロスブラック・フロント・エアロウイングレット
- カーボンファイバー&グロスブラック・スポーツ・ドアシル・エクステンション
- カーボンファイバー&グロスブラック・リア・ディフューザー、  
グロスブラック・ディフューザー・ウイング
- カーボンファイバー・リア・エアロウイングレット
- ボディカラー・ベンチレーテッド・リアホイールアーチ

ロワー - 2x2 ツイル・カーボンファイバー・ボディ・パッケージ

- カーボンファイバー・サイドストレーキ
- グロスブラック・ウィンドウ・サラウンド (DLO)
- グロスブラック・ルーフレール
- カーボンファイバー・ボンネットブレード
- カーボンファイバー・ドアミラー・キャップ
- ブラック・エキゾースト・テールパイプ・フィニッシャー
- カーボンファイバー・スポイラー・エクステンション

### インテリア装備

Inspire - Comfort

- セミアニリン・レザー張り
- メモリー付き 16 ウェイ・コンフォート電動フロントシート
- ヒーター&ベンチレーション・シート - フロントおよびリア
- 刺繍 - アストンマーティン・ウイング
- インテリア・ジュエリー - サテンクローム
- ヘッドライニング - レザー (カラーコーディネイト)
- コンフォート・ヒートッド・デュオトーン・ステアリングホイール  
(カラーコーディネイト)



ASTON MARTIN

### Inspire – Sport

- セミアニリン・レザー張り
- メモリー付き 16 ウェイ・スポーツ電動フロントシート
- ヒーター&ベンチレーション・シート - フロントおよびリア
- 刺繍 - アストンマーティン・ウイング
- センター・レザー・ストライプ付きウイング・キルト&パーフォレーション
- インテリア・ジュエリー - ダークサテン・クローム
- ヘッドライニング - レザー (カラーコーディネイト)
- コンフォート・ヒートッド・デュオトーン・ステアリングホイール (カラーコーディネイト)
- 720gsm カーペット - ブラック

### ベンチレーション・シート<sup>2</sup>

#### ステアリングホイール

- ヒートッド・スポーツホイール<sup>3</sup>
- アルカンターラ・ホイール<sup>4</sup>

#### トリムインレイ

- グロス 2x2 ツイル・カーボンファイバー
- Q クラウンカット・ソリッド・ウォールナット・ナチュラルウッド<sup>5</sup>

#### スモーク・テールライト

#### リア・プライバシーガラス<sup>6</sup>

#### リア防音プライバシーガラス

#### ジェスチャーコントロール機能付き電動式テールゲート<sup>7</sup>

#### スペースセーバー・スペアタイヤ

#### 電動展開式牽引バー<sup>8</sup>

#### リモート・パークヒート<sup>9</sup>

#### ヘビーパイル・フロアマット<sup>10</sup>

#### HomeLink®ワイヤレス・コントロール (GDO)<sup>11</sup>

#### 傘およびホルダー

<sup>1</sup> ジェスチャーコントロール付きパワーテールゲートでは装着不可

<sup>2</sup> Accelerate でのみ装着可能

<sup>3</sup> Inspire – Comfort でのみ装着可能

<sup>4</sup> Inspire – Comfort では装着不可

<sup>5</sup> Inspire – Comfort でのみ装着可能



ASTON MARTIN

- <sup>6</sup> 一部の市場では標準
- <sup>7</sup> エクステリア・カーボンファイバー・ロワー・パッケージでは装着不可
- <sup>8</sup> 北米/中国/韓国/オーストラリア/ニュージーランドでは装着不可
- <sup>9</sup> 英国および欧州市場でのみ装着可能
- <sup>10</sup> Inspire でのみ装着可能
- <sup>11</sup> 一部の市場では標準

###

### **アストンマーティン・ラゴндаについて:**

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを製作しています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって 1913 年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、Vantage、DB11、DBS、DBX に加え、同社初のハイパーカーである Aston Martin Valkyrie など、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴндаは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界 55 か国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUV の DBX は、ウェールズのセント・アサンで製造されています。

ラゴндаは 1899 年に、アストンマーティンは 1913 年に設立されました。この 2 つのブランドは、1947 年に故デイヴィッド・ブラウン卿によって買収されて 1 つの会社となり、現在は、「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020 年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・コグニザント・フォーミュラ 1™ チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



ASTON MARTIN

###

詳しい情報は、ウェブサイト ([www.astonmartin.com](http://www.astonmartin.com) または  
[www.astonmartin.com/media](http://www.astonmartin.com/media)) から入手可能です。

ブランド・コミュニケーションチームの [Twitter](#) も開設されています。

アストンマーティン・ソーシャルメディア・チャンネルは、以下のリンクからアクセスできます。

- [Facebook](#)
- [Twitter](#)
- [Instagram](#)
- [Google+](#)
- [Pinterest](#)
- [YouTube](#)
- [LinkedIn](#)
- [Vine](#)

**メディア問い合わせ先：**

アストンマーティン ジャパン PR

谷田 恵美

[megumi.tanida@astonmartin.com](mailto:megumi.tanida@astonmartin.com)

コスモ・コミュニケーションズ アストンマーティン PR チーム

原 延之

M：070-2198-7098

[nobuyuki.hara@comnet.co.jp](mailto:nobuyuki.hara@comnet.co.jp)

佐浦 有介

M：070-3864-9894

[yusuke.saura@comnet.co.jp](mailto:yusuke.saura@comnet.co.jp)